

第6回「こんにちは！市長です」開催概要

開催日：令和6年9月8日（日曜日）9時30分から11時40分

開催場所：あかしあ台小学校 会議室

参加団体：あかしあ台小学校PTA 16名

【PTAについて】

- ・PTAには「やらされ感」があり、それを払拭したいと思い取り組んでいる。
- ・PTAの役割分担は得意な人が得意なことをできるよう、仕事内容についてミスマッチが起こらないようにすれば、負担感は減ると思う。
- ・小学校に上がると、保護者と会う機会が少なくなった。PTAをすることで、地域の方とも話す機会が増えたとし、活動の中で地域の方から多くの支援を受けていることを知り、感謝している。PTAは大変な面もあるが、活動して良かったと思っている。
- ・知らない人ばかりの中で、保護者に知り合いがほしいなと思い立候補した。パソコンが得意で、自分の好きなことを活かせるし、フルタイム勤務だが、PTAのために休まないといけないこともあまりなく、ライフスタイル的に負担があまりない。PTAが無い地区もあると聞いており、無くても上手く回るというのが理想だが、あった方が上手く回るのであれば、PTAは必要だと思う。
- ・PTAをすることで、学校が見えるようになった。
- ・PTAはなくてもいいのでは？と思っていたが、「子どもたちが学校生活を良い環境で過ごしてほしい」これが一番で、その思いの実現に向けて働きかけができる場である。

【学校への地域の関わりについて】

- ・あかしあ台地区は、地域のボランティアの方がとても多い。見守りが多く、子どものことをとても考えてくれており、とても有難い。PTAの役員をすることで、他校の状況や情報が入ってきて、あかしあ台地区はボランティアが多いということを知った。
- ・小学校に地域の方が関わって、助けてくださっていることをとても感じる。地域との連携、「地域で子育てをする」という思いが強い。見守りの方も、曲がり角などポイント毎に居てくださる。
- ・子どもが持ち帰ってくる手紙で、毎年「地域の方のおかげで・・・」というお知らせがあり、社交辞令だと思っていたが、そうではなく本当に地域の方のおかげと感じている。あかしあの凄いいところをもっと知ってもらえたらいいと思う。
- ・コミセンでベルマークを集めてもらっているが、地域の方にはかなり貢献いただいている。学校でも集めているが、割合から言うとコミセンの分が多い時もある。

【子どもの学校生活について】

- ・「学校の登下校時に日傘を使いたい」ということを、PTAの場で提案したところ、学校内で検討され、下校時のみ許可いただけてとても有難かった。他の親からも喜ばれた。PTAの場は、学校に意見が伝わりやすい、と感じている。
- ・まだ役員として関わっていなかった時は、先生と話をして勉強の習熟度とかの話で、学校の環境改善等について「保護者は部外者」だと感じていた。子どもの学校生活の環境改善について、どこに声を上げたらいいのか分からなかった。PTAで関わってみて、子どもが、環境が悪いトイレを使っていることを知った。ただ、先生を困らせたいわけではなく、先生の負担が減るようになればいいと親も考えている。どうしたら先生も子どもも気持ちよく過ごせるのか。子育てをしているのでとても分

かることだが、先生はワンオペしている。「その部分に教員免許が要るのかな？」というところまでしてくれている。このような状況だと、先生のなり手がなくなる。低学年ほど「お世話をする」という要素が強い。先生がしなくても、トイレ掃除の手伝いであれば、大人ならできる。地域などから大人の目がたくさん入るようになればいいと思う。

- ・ 昨年からPTAを改善している。夏休みの「クリーン作戦」を業務委託にした。今、課題に思っているのが、「トイレが臭くて汚い」問題である。子どもたちも、下校時間に近いと学校のトイレを使用することを我慢し帰る子もいると聞いている。保護者や地域の大人がどこまで関われるのか、仕組みも必要だと思う。段取りしてもらおう先生の負担が増えないように、やれる人がやれることをしていけばいいと思う。様々な擦り合わせができれば、子どもの学びの環境を整えられるのでは、と思う。
- ・ PTA会長会での話からトイレ清掃の予算を教育委員会ですべてもらえた。キレイが持続するように、コーティングする予算をPTAで検討中である。PTAも「やらなければならない」ことを減らしたら、「やりたい・やってみたい」ことが出てくると考えている。
- ・ PTAに関わることで、日傘のことについて希望が叶うことや、トイレ環境が悪いことも分かった。トイレ掃除にもコツがあるが、子どもたちが掃除の仕方が分からない。低学年になるほど大人の手伝いがないと難しいと思う。

【部活動の地域移行について】

- ・ 部活動の地域移行の話について、クラブチームに入る場合も、合格しないと入ることができない。同じチームなのに、試合場所が三田だったり篠山だったり、場所の問題も大きくなると思う。運動系はクラブチームなどあるが、文化系はあまりなさそうなので、部活ができない子が増えるのではないかと懸念している。中学生の居場所的なものも必要になるのではないかなと思う。
- ・ 上の子を見ていて、部活動をする場はとても大切だと感じている。ある程度、部活動に入る仕組みづくり的なものも必要だと思う。コミュニティに入ることなど中学校生活でしかできないことがあると思う。今の小5の子が中学校に上がった時にどういった状況になっているのか不安である。

【その他】

- ・ トイレ改修の順番・予定が明確化しておらず、PTAとして介入する時期が判断しづらい。改修予定の一覧が欲しい。
- ・ 子どもが2歳の時に階段から落ちて、救急車を呼んだが、搬送先が見つからず、救急車内で長時間待ち、結局ポートアイランドまで行った。救急の時に子どもを診ることができる先生が近くにいない。
(子どもが熱性けいれんになった人からも同様の意見あり)
- ・ 体育館に空調をつけることを検討してほしい。暑すぎて、子どもたちが体育館で体育の授業ができない。家庭科室も空調があればいいな、と思う。
- ・ 教頭が担任を持っている。担任の先生が変わることも多く、子どもたちを不安にさせている。教員不足が深刻で、人が集まらない等大変なのは分かるが、なんとか改善してほしい。
- ・ 子どもが小学校の支援級に通っており、成長・発達がゆっくりめである。貰った母子手帳の成長曲線や発達の様子は、一般的なものが記載されており、その通りに成長していないこともあり、記録として記載するのが辛いことがある。成長や発達がゆっくりめの子が記録に使えるものが欲しい。
⇒ (市) 令和5年4月に兵庫県が作成した「リトルベビーハンドブック」を紹介。市ホームページ等でも周知・啓発する予定。

【主な意見を受けて（市長から）】

- ・今までのPTAの概念を払拭して、やりたい人がやる委員会があるのが面白い取り組みだと思う。「PTAをやってよかった」という思いなど、他でも伝えていきたい。
- ・部活動の地域移行の話について、子どもの体験機会の創出は大切だと考えている。全国的にも整理がついていない状況ではあるが、生徒と保護者の方を向いて、声を聴きながら取り組んでいきたい。
- ・市では公民連携の取り組みを進めている。私自身が意見を聞くことで、ニーズとマッチングできるようにしている。市として関与できる部分はあると思うので、様々なアイデアを出しながら、やれることを検討していきたい。

いただいたご意見・ご提案は今後の市政運営の参考にさせていただきます。